

長崎西高在京同窓会ニュース

コミュニティ

第7号

1989年10月

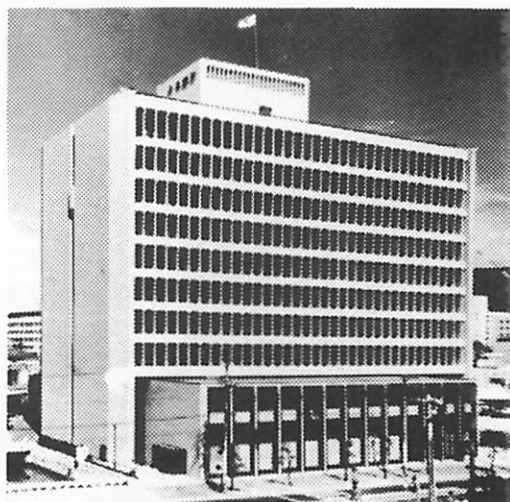
- ①座談会・在京同窓会について大いに語る ④人・クローズアップ ⑥'90長崎旅
博覧会 ⑦長崎市場 ⑧先生お元気ですか ⑩昔の仲間・今の仲間〈陸上部、
新聞部〉 ⑫新刊・既刊 ⑬告知板 ⑭同窓会便り



ふるさとの銀行



東京支店
東京都中央区京橋3丁目7-1
(03) 561-9711



吉

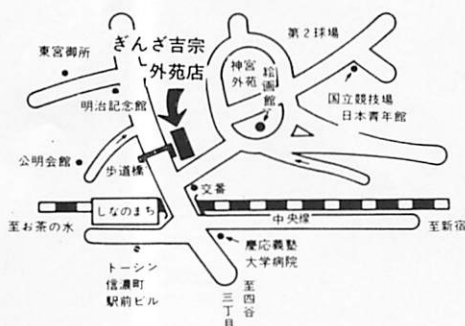


宗

慶応二年

神宮の森にある外苑店へお越しになりませんか

吉宗外苑店案内図



特別献立(一週間前予約要)

— 卓 袱 料 理 —

☆お1人様13,000円からの予約をお受けしております。

☆75名様までのご宴会も出来ます。
ご予算は御相談くださいませ。

〈定休日〉 外苑店 火曜日
銀座店 日曜日

〈電 話〉 外苑店 478-7676
銀座店 572-7686

——長崎西高在京同窓会の会長
副会長が交代なさるということが総会以降正式に決定ということなんですが、そこで今日は新旧の会長、副会長にお集まりいただいて、この機会に当会について自由にお話しただけだと思います。

掛川 交代にあたって、今後在京同窓会が新しい体制で発足するということは、意味があるんじゃないかと思います。

我々が五十七年から会長、副会長という体制でやってきて意義があったと言えば、常任幹事会ができ、新しくそのシステムで同窓会の運営をして来たことです。当番幹事というのとは、あくまでも、年度の総会というイベントに対する作業をするわけで、常任幹事というのとは、年間を通しての活動方針または企画を練っていくという事が一点と、「コミュニティ」の発刊が一点、このコミュニティの方はその経費負担もさることながら、実務面でも編集者の方々の大きな負担になっているんですがね。大きく分けてこの二点が我々の時代に発足したシステムという組織ですね。

小林 そうですね。本田前会長から引継いだ時は在京同窓会の体制は整っていました。その上で我々が引継ぐについて、掛川

会長の意向で、常任幹事会とコミュニティを後の時代に残るものとして作り、あとは人間的な繋がりというものを大切にしました。

掛川 さらに同窓会を発展させることは次の会長にまかせるとして、部分的な組織の見直しも必要だろうと思うんですね。

また、組織化とくにまだ未発掘の卒業回生をどう今後発掘していくかという問題があります。卒業年度と共に意識そのものも変わって来ているから、若い人達の一人でも二人でもいい、部分的な参加というか、引張ってくるそのシステムを考えてもらわないといけないと思います。

小林 先日、狩野さんとお話した時に新しい構想なんかさすが狩野さんだな、と思いました。ずいぶん考えた様です。ただ、一気に改革というか、「狩野色」というものを出さずに、成果を見ながら序々にやった方がいいのではないかと思います。——かなりの宿題をあずけられましたね。

まず、切れ目のない組織化を

狩野 掛川会長や小林副会長から私たちが引継いで、今後何ができるんだろう、と思っ

さしあたって私は、何を付け



座談会

在京同窓会について 大いに語る

加えればよいかわかりませんが、現状を引継いで行くしかないと思っ

ただ私が、引継いだ時点から本腰を入れて取組もうと思っ

輪を広げていくかということ

集まろうと思っ

も来れる、各回で組織されてい

ない回がない様にしたいとい

ことで

というの

私たちが当番幹

事をやって以降、総会

は毎年行

うとい

うということになっ

たんです

それ

でもし

ばら

くは依然として

総会

は二

年に一

度で

よいの

では

くかを考

えてみ

たとい

は水城

君(21

回生)

がよく

参加し

てくれ

てい

るん

だ

けど、

彼に22

回生の

連中が

どこ

かで

集ま

って

いい

ない

か、

その

中

で一

人

でも

東京

近

辺で

連

絡の

・弁護士
・台湾台北市(国民)学校入学の引揚げ。我々台湾の同窓会に絶対に新入会生のない、亡びゆく最少年のメンバーである。

・本籍熊本県の田舎の中学卒業後、父の仕事の関係で西高島町に移り、西高入学。西高在学中は島民。されど同島中学卒ではないので、面識は長崎市小曾根にあった三菱鉱業学生寮の住民のみ。土日は寮を締められ帰宅するの、長崎市の町の様子もほとんど知らぬエトランゼ。そして高島閉山。わが足跡は次々に消えてゆく。あゝあゝ。

・西高卒業後、東京遊学。卒業大には同窓会なし。
・大卒後、一時サラリーマン。脱サラ後ちいっと勉強。やっとな引かかって現職。流浪の人生も東京が一番長くなる。



狩野祐光⑥・略歴

て思う有様だったんです。

狩野 しかし、よくそういう回生にまかせましたね。

小林 ところが、その後の16回生、17回生なんて考えられない状態だったんです。そういう状態ですと来てて、しかしその回生が当番幹事になったら、立派に総会を運営しているのを見

たら、(17回生)以降もだんだんそうなっていくんじゃないかと思っています。

安心感がある21回生

掛川 そうですね。皆当番が回つてくれば立派にこなすと思います。ただ21回は水城君がいるから、出席率もいいし、何となく安心感がありますね。でも22回以降というのはほとんど出ていないでしょう。そこらが非常に問題ですね。

狩野 私達の時も新人を発掘したんですよ。と言いますのはね、とにかく30周年記念だから盛大にやれということ、6回生が言われたわけですが、やれと言われても何をどうやっていいのかさっぱりわからないわけですよ。そこでとにかく出席人数をかせこうと言うことで、同期の中で新人発掘を始めたんです。その時に私が担当したのが11回生だったんです。その時私がやったことはまさに名簿をずっと拾いまくって東京に来ていて人をピック・アップすることでした。その中でたまたま個人的に木村君を知っていたから「お前の所にこれだけ(東京に)いるはずだから」「この名簿で何とかやってくれ」と言っ、名簿を送ったんですよ。そして木村君が一生懸命やってくれました。

・株鳳商事取締役・獣医師
・長崎市立山里中卒。
・在高時、剣道同好会を結成、生物部に副副理事を受賞。
・趣味は食道楽。旅行。
・家族は娘2人と祖母との5人。
・藤沢市在住。



平井吉孝⑧・略歴

てね、今では逆に感謝されています。

小林 全然幹事会にも出て来ない所は誰か核になる人、そういう人を一人でも二人でも各回に作ってもらって引張り出す様にしないとだめでしょうね。

狩野 総会の出席数としては三百人くらいいけば何とかやっていきますから定数的にはわざわざ狩り出さなくても足りるんじゃないか、こういう回生がありますよ、ということ皆さんに広く知らせていきたいですからね。

——ただ若い回生の方は、若い人が来ないと、また若い連中が集まらない、来てもおもしろくないという風になりますから、なかなかむずかしいですよ。平井 でも私らも最初は少なかったんですよ。最初五、六人か

ら始まって、「卒業生の代表だから」ということで「盛り上げてやろうじゃないか」これがきっかけで、皆で集まって名簿ができたんですよ。

当番幹事は横のつながりを深めるチャンス

小林 当番幹事をやるということとはそう言った意味で、横の繋がりを深める上で一番いい機会ですよ。しかもそれが一年間だけだということ。これが何年もやるんではウンざりしますが、この一年間ガンばればいいという気持ちになりますからね。狩野 男の四十二の厄年ですが、当番は。我々もそうでしたが、当番幹事をやって初めて同窓会において、一人前になって行くんだと思います。

掛川 やはりいろんな苦労もあるし、それだけ時間を費やさんといけないですからね。

——今度会長、副会長二名の三人体制で、しかもマドンナが加わるということですが。

狩野 7回生の古後さんですよ。男ばかりでやっているのでは組織を広げる上であまり良いことではないですね。女性の方に対して、もっとリラックスした会合だと思っていただく事が大切だと思います。名簿作りにしても、女性陣にもっと協力

・NTT勤務の御主人の転勤で九州内を転々とした後、昭和43年に上京、以後在京生活。現在、御主人が鹿児島に単身赴任中、一男一女の子供達も既に社会人。

・只今(このところ)パートで勤務中。何故かコンピュータにさわっています。
・趣味多々。特に昔から好きなタンゴの音楽を聴きつつ、健康づくりに兼ねて、社交ダンスの練習中とのこと。遊びも大好きで、酒の味も良し。
・御主人の仕事によつては、九州に帰ることになるかも。それまで、同窓会の仕事(?)に出来るだけコミットしたい。
・それは、同窓会ではいろいろの人間に会えること。また、それらの人々に気兼ねがまったく要らないこと。
・とともに、自分というものを確認し、張りを持つことがこれからの高齢化社会に必要なのでは。それが同窓会の中で得られることは素晴らしいのでは。

・むしろ同窓会に対して、興味津々といった野次馬の感覚で、知らないからこそ、アマチュアリズムの原点の気持ちで進めていきたいと思います。
・矢張り、当番幹事をやってみると、辛かったけど楽しい思い出になっています。その上、いろいろなことで、思わ

る。男ばかりでやっているのでは組織を広げる上であまり良いことではないですね。女性の方に対して、もっとリラックスした会合だと思っていただく事が大切だと思います。名簿作りにしても、女性陣にもっと協力



古後美智子⑦・略歴

していただかないといけませんし。

掛川 '84年に出したからもう六年になるしね。

小林 五年に一度出そうという線に進んでいたんですから少し遅れていますね。

「この人は知識の宝庫のよな人」

——新しく会長、副会長に就任なさるわけですが、就任にあたって一言お願いします。

平井 そうですね。何をやってた方がいいか、びっくりしててまだはつきりとは分りません。会長の補佐ができればいいな、と思っています。どうぞよろしくお願いします。

狩野 こちらこそ。私も前会長、副会長のなさっていた事を踏襲していきたいと思っています。

——では退陣されるにあたって一言お願いします。

小林 私事なんですけど、私は副会長をやらせていただいて本当によかったと思っています。仕事柄どうしても付き合う世界が狭いので、外部の人と接触する機会がほとんどない訳で、同窓会に来て、いわゆる第一線で活躍している人と、それぞれの分野のなまの話を聞けるというのが私自身非常にプラスになりました。

とくに掛川君には非常に影響をうけました。この人は知識の宝庫みたいな人です。万巻の書を読んでいて、そこから私は自分のためになる知識を研究させてもらいました。

そうした意味で、副会長を八年間やったという事は、やる前と比べたら雲泥の差ぐらいプラスになったと思っています。

狩野 そうですね。いいコンビでしたからね。見ていて羨ましかったですよ。

掛川 私も逆の事が言えます。4回生全体の傾向があつて、我々は終戦直後のかなりハングリリーな時代に高校を卒業しましたから。昭和二十七年と言えはまだまだハングリリーな頃で、苦労する事が多かったですね。だ



掛川博行④・略歴

・ニチアスエンジニアリング代表取締役
・私がかかわるプラント業界は久しぶりに活況を呈しています。唯、今後は急激な構造変化が進行するものと思われ、従来型の産業構造が機能するのは、これが最後になるのかも知れません。

から皆個性がいろんな方向に現れたのじゃないかな。その中で彼の個性というのは、あの時代にしてはめずらしく物事を割りきって考えるという風でした。そういう面で私自身多めに学ぶことがあつたし、自分がこうあらねば、という手本になったような気がします。

そういうことではお互いにプラスになったようですね。

だから同窓会というものは、友好を基本にする会合ではあります。何か互いに学べるものがある、何か互いに学べない、いや、おおいにある、そう言う意味での価値をどこか少しでも出していいんじゃないかと思うんです。あくまでも我々の経験から言っていることなんです……。

盛んに「コミュニティ」でインタビューをやっていますが、あの企画は機会があれば一年に一人じゃなく、もっと多くの、同窓会の皆に「こういう人もいるよ」と知ってもらいたいんじゃないかな、と思います。あまり大上段に振りかぶった人生論じゃつまらないけれど、特異な道、ユニークな道を歩いて来た人がいるはずなんで、そういう人をどんどん表に出して皆に披露した方がいい気がします。小林 表面に出ているというか

今脚光を浴びている人はそれでいいんでしようが、表面に出なくとも自分の信念をもってやっている人もたくさんいますから。個性のよく出ている17回生

狩野 話は少し前に戻りますが、当番幹事を持ち回る訳ですが、卒業年度ごとに少しずつ違うんですね。6、7、8、9、10回生という所はたいして変わらな

いんですが、11、12回生以降からはつきりと違って来ましたが、掛川 そうね、11回生あたりからその年度の個性が出て来たようですね。昭和二桁の世代というかね。

小林 17回生は、個性という意味ではよく出ているんじゃないですか。

狩野 本当に年度ごとの個性が



小林敬里④・略歴

・柳成記器械店(医療器械)代表取締役
・どういうわけか去年まで年令を一歳多く間違えているのに気づいた。頑張れる将来を考えたとき、ここに来ての一年は大きい。有効に使おうか遊ぼうか、56才。

ぬことで助けられたりしています。・その原点としてのつながりを大切にして、頑張りたいと考えています。

あつて楽しいですね。

小林 それはそれで尊重していてもいいと思います。今後とも。

平井 私達の時代は赤字にならないように、それだけでしたからね。

——発想は今も同じですよ。昨年私達もやりましたけど、何も担保がないのでとても心配でした。

ではもう時間もなくなってきましたので、新会長から前(と)いっていいんですかね)会長へ一言お願いします。

狩野 八年間本当にご苦労さまでした。今後私達にこうしてほしいと言う注文があれば是非お願いします。

掛川 さっき言ったことがすべてです。基本は和気あいあいやるということ。そのムードを作っていた方がいいと思います。片肘張った形の運営はよくないですからね。

小林 私は狩野さんが引受けてくれて本当に嬉しいです。応援させていただきます。

——新旧の会長、副会長の皆様今日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。



——渡部さんとリニアモーターカーの関係は、いつ頃からですか。
渡部 私は東芝に1959年に入社しました。専門はパワーエ

プロフィール

九州大学工学部電気工学科を昭和三十四年に卒業、東芝に入社。昭和四十五年からリニアモーターカーの開発に従事。現東芝交通事業部技師長。

渡部 新次郎 (7回生)

レクトロニクスなので、最初は直流送電の仕事をやっていましたが、国鉄(現在の鉄道総合研究所)を中心に、東芝を始めとする日本のメーカーで1970年にリニアモーターカーのプロジェクトが始まり、それに最初から関わっていますので約20年になります。

現在では、東芝でリニアモーターカーを担当している交通事業部というところの、技術的な面での責任者をしています。

新実験線が山梨県に決まり、21世紀始めに営業運転を目指していますので、これからも実用化に向けて取り組んで行きたいと思っています。

——20年間も一つのプロジェクトに携わっていると、いろいろな感慨もあると思いますが、一番苦労されたことはどんなことですか。

渡部 そうですね、やはり世の中に例がないことを始めるという点が問題でした。超電導マグネットの開発にしてもシステム的にも、なにしろ世界中に先生がいない訳ですからね。

全く白紙の状態からスタートしましたので、最初の頃はアイデアをどんどん出して行くことの連続でした。

——プロジェクトとして最初の手掛けたのはどんなことですか。

渡部 最初は直径40mくらいの円形のコースで、バーマネットマグネットを取り付けた車体を使ってシステムの検討を行いました。それと平行して、超電導マグネットでは車体を浮かすことができるかどうかの研究を行いました。この二つの面から取り組んでいった訳ですね。

やはり超電導マグネットは一番大きな問題でしたが、地上に据え付ける推進コイルの駆動技術についても、一万六千kVAの周波数可変電源システムを開発しました。

——超電導マグネットを利用したリニアモーターカーというのは日本だけです。

渡部 そうです。ヨーロッパでもリニアモーターカーをやるうとしていますが、超電導をあきらめたので現在は日本しかやっていません。ヨーロッパが今から超電導をやるうとしても20年の差がありますからまず追いつけないでしょう。

始めは先生がいないことで苦労しましたが、ここまで来てみると、今度は競争相手がいらない訳です。そのために、世界中で日本にしかない技術というのは、この超電導磁気浮上リニアモーターカーだけであるといわれるようになりました。

——超電導マグネットというの

輸入電子部品 (半導体・パーツ・工具・機器) の専門商社

と きわ し ょ う こ う

代表取締役

株式会社 千代田常盤商行 安部勝治 (第9回卒)

〒101 東京都千代田区外神田 1-8-6 丸和ビル

電話 03-255-5371(代) FAX 03-257-1155

は、筑波の高エネルギー研究所の加速器などにも使われていますが、リニアモーターカー用としては特別の技術的な障壁があるのでしょうか。

渡部 最近、セラミック系の常温超電導が話題となり、テレビでも紹介されていたので見た人も多いでしょう。しかしリニアモーターカーの超電導マグネットは、大きな電流を流さなければならぬので極低温で超電導となるニオブチタン合金を使っています。

超電導状態というのは、電気抵抗がゼロになる訳ですが、極低温で超電導の状態になったニオブチタンに一旦電流をチャージすると、七千時間くらい電流が流れ続けます。この超電導コイルを車上に搭載するのですが、人間を沢山のせるためには軽量である必要があります。いかに軽くするかが大きな問題であり、当初の頃から1/5位まで軽くすることに成功しています。この点が、他の用途のものとの大きな違いです。

宮崎にある実験線では、現在どれくらいのスPEEDが出るのですか。

渡部 無人走行車両では517km/hという記録があります。技術的には500km/h走行に問題はありませんが、現在の車両は42

0km/hが最高速度です。というのは、有人走行車両となって車体が大きくなって、宮崎実験線の変電所の電源容量が間に合わないようになって来たのです。あまりスPEEDを出せないもう一つの理由は、実験線が7kmしかないことです。有人走行となりますと、あまり急に加速したり減速したりする訳にもいきませんし、オーバーランしないように余裕も必要となります。

先日、新実験線の審議会答申が出まして、今度は45km程度の新実験線が山梨県に建設されることとなります。そこでは500km/hでの走行実験を行います。これまでは高速で長時間走ることがないので、信頼性を上げるといのが今後の課題になります。

——乗り心地はどうですか。浮上すると全く揺れないのですか。渡部 動き始めるときはゴム車輪走行ですが、1800km/hくらいの速度で浮上走行になります。宮崎実験線ではまだいろいろの調整を行っていますので、いつ乗っても揺れない訳ではありません。最終的には、車輪走行時には高速道路を走行する自動車なみ、浮上走行時は飛行機なみの乗り心地を目指しています。でもシートベルトが要りませんから、飛行機より快適になると

思います。

——浮上走行のときには、どれくらい浮くのですか。

渡部 10cmです。日本には地震がありますがヨーロッパでは地震のことを考えなくとも良いので、トランスラビッドでは10mmしか浮上しません。しかし日本では地震のときに地盤が揺れることを考えると、すくなくとも10cmは浮上させる必要があります。そのために超電導マグネットが必要となって来るのです。——実用化に向かっての課題はどういうことがあるのでしょうか。

渡部 公共の輸送機関ですから、信頼性と経済性が一番重要です。また、現在の新幹線なみの列車本数を高速に走行制御する技術、トンネル突入・すれ違い走行時の技術なども開発して行く必要があります。

——西高時代のクラブ活動はどうでしたか。

渡部 林田先生が顧問をされていた地学部に入っていました。

林田先生はどちらかというと物理の方でしたので、地学部とはいっても雨滴の電気量を測定する装置を作ったり、変わったこともやりました。男女に帯電電荷量の差があるか測定しようということになって、女子生徒に来てもらって測ったことがあり

ました。結局男女差はなかったように記憶しています(笑)。

そんなこともありましたが、

一応地学部として化石採集にも出掛けました。林田先生に引率されて熊本県の九重に行ったときには、何日もキャンプをして非常に楽しかった。

——楽しい西高時代を過ごされたようですが……

渡部 今でも長崎西高で育って良かったと思います。先年、西高に呼ばれて在校生の皆さんに話をするという光栄に恵まれ、その折にも話したのですが、西高では「自律」ということを強調されて過ごしましたが、高校生のときには何のことかは良くわかりませんでした。しかし一番感受性の強い年齢ですから、それが体にしみついていたのでしょう。先例のない仕事に携わり、困難に直面するたびに「自律の園」の精神がそれを乗り越えるきっかけになったような気がします。

自律の精神の下、自由な雰囲気。西高で育ったことで、こういう技術の世界で、どこでもやっていけない仕事をやるのときに、思い切ったことをやれたのだと思います。この年になってつくづく「自律の園の精神で育って良かったなあ。」と実感しています。

自宅、事務所のルームクーラ取付に



セントラル工業株式会社

代表取締役 大宜見 朝 弘

東京都保谷市住吉町 3-14-14

TEL 0424(21)7411(代表)

'90長崎旅博覧会

The Journey Exposition, NAGASAKI, 1990

平成2年8月3日→11月4日

主会場／長崎港松が枝国際観光埠頭、グラバー園



日本の歴史上、幾多のドラマ

を生んできた「旅」をメインテ-

マに、長崎ならではの博覧会が

平成2年に開催されます。エキ

ゾチックな香りが漂よう長崎の

魅力を再発見してみませんか。

博覧会は、松が枝会場とグラ

バー園会場をメイン会場として、

その他に個性豊かな市内7つの

ゾーンが連動して行なわれ、街

中が祭りの舞台という、これま

でにない新しいスタイルのもの

です。地元はもちろん、長崎ゆ

かりの世界の国々、姉妹都市関

係をもつ国々、そして新しい友

人たちがいった具合に国際色豊

かにくり広げられます。また、

歴史探訪など、長崎県下各地で

の様々な「旅」もホスピタリテ

ィ(もてなしの心)とともに用

意されています。

メイン会場のひとつ、松が枝

会場には「長崎ストーリー」館、

企業館、「世界の旅」館、「海の

未来」館などのパビリオンが建

設され、旅の交流点・出発点と

して長崎のエキゾチックな魅力

を広くアピールします。またわ

長崎すべてが まつりの舞台

庭園、グラバー園を舞台にした
会場では、フランス館・イギリ
ス館・スペイン・ポルトガル館・
内外クラブ館・オランダ館・ア
メリカ館・ソビエト館など長崎
ゆかりの諸外国の16世紀から19
世紀の各国のライフスタイルが
ドラマチックに再現されます。

市内の7つのゾーンは、街の
零囲気をうまくとり込んだ個性
的な会場です。まずは、長崎駅
前から広がる「であいのゾー
ン」。ここでは長崎のまつりや歳
時記、文化を訪ねて知的体験・
発見を愉快地に楽しみ、浜町の「賑
わいのゾーン」へ、賑やかなコ
ミュニティゾーンで楽しんだ後
は、めがね橋あたりの「やすら
ぎのゾーン」でちょっと休憩。

長崎の概要をつかんだら、次
は長崎ならではの「異国のゾー
ン」へ。孔子廟中国歴代博物館
周辺は中国を体験OK。中国パ
ビリオンもあり、長崎に根つい
た中国文化を満喫。大浦天主堂、
石畳、洋館などでは西洋のフェ
スティバルゾーンが広がります。
さて、長崎といえば原爆が思
い出されます。平和公園を中心
にした「愛と平和のゾーン」は
永遠の平和を希求する長崎にふ

寺井法律事務所

弁護士 寺 井 一 弘 (第12回卒)

事務所 〒105 東京都港区西新橋1-21-8 弁護士ビル2階208号室

電 話 03(508)7848 番代 FAX 03(508)8997

れるゾーンです。最後のゾーンは「憩いのゾーン」。稲佐山自然公園で長崎の全貌を見渡し、また、1000万ドルの夜景を背景に旅の仲間たちとの出会いと交流を育くみます。

長崎の夢を 未来をカタチに

長崎をあげてのこのイベントには、いろんなトピックスもいっぱい。「旅」博のポスターはロサンゼルス在住の国際的イラストレーター長岡秀星さんのシリーズ。グリーンを基調とした長岡さんの個性あふれる作品で「旅」博のイメージもグリーンとアップ。

またテーマソング、キャンペーンソングもさだまさしさん作詞作曲の「星屑倶楽部」や大鏑武則さん作曲の「みんな長崎を愛してる」など素敵な曲が勢ぞろい。その他県内キャラバンでは、キャンペーンカーとしてやってきたまっかな車体のロンドンバスが大活躍。来年の夏に向かってエネルギーに導進中です。

第一期前売入場券 割引発売中！

今なら抽選で素敵な景品が当

ったり、当日券に比べてぐんとおトクなダブル特典つきの前売入場券を発売中。

(単位:円)

・料金表

種別 区分	当 日 券			前 売 券	
	普 通	団 体 — 一般 学校行事		第 1 期	第 2 期
大 人	2,580	2,270	—	2,060	2,270
高校生	1,650	1,440	820	1,340	1,440
小・中学生	1,340	1,130	670	1,030	1,130
幼 児 3歳以上	520	410	260	310	410

※この表での年令は平成2年8月3日現在です。

※団体は30名以上から。

※消費税が3%付加されています。

『長崎市場』

平成元年11月10日(金)から

11月14日(火)まで

東京都代々木公園B地区

長崎が東京で ごあいさつ

いつも日本のハシッコにいる長崎が、日本のド真ん中であいうえお。長崎ならではの美味しいモノ、おもしろいモノ、珍らしいモノ、楽しいモノ、いろいろあるので、たくさんの方が楽しめるはず。エキゾチックな長崎、ふるさと長崎を東京にしながら感じられます。「旅」博のプレキャンペーンとしても、一度は行ってみたいいかが。

期間は11月10日(金)から14日(火)までの5日間。海の幸、山の幸、ロマンの香りの特産品の展示即売や、波佐見焼、三川内焼の伝統工芸の実演、またアトラクションとして竜踊り、小浜太鼓、不知火太鼓、黒丸踊りなどの出し物と実演で、長崎の祭りを体験。

そして何といっても長崎とい



YOKOGAWA
JOHNSON

人が働いたり生活しやすい環境、モノを製造したり品質を維持しやすい環境。これらの環境は、高度にコントロールされることにより初めてつくりだされます。当社は、つねに時代をみつめた制御システムにより、最適環境づくりを実現し、生活と産業に大きく貢献しようとしています。

営業統括本部 (03) 230-7234
エンジニアリング本部 (03) 230-7151
技術・生産本部 (03) 230-7300
東京本店 (03) 230-7111

営業品目 ●トータルビルディングオートメーション
●各種コントロール機器・制御盤

設立年月日 昭和46年6月1日
資本金 8億円
従業員数 550名

横河ジョンソンコントロールズ株式会社

本社及び 東京本店 〒102 東京都千代田区九段北3-3-9 新二口坂ビル



先生 お元気ですか？

元長崎西高教諭

山村 裕美

思い出すままに

勤務期間——一回目——初代小谷校長の昭和二十八年四月～三十年八月（二年五ヶ月）、（鹿児島県立川内高校）、二回目——三十七年四月～五十四年三月（十七年）、（中五島高校）、三回目——五十七年四月～六十二年三月（五年）。計三回勤務。二十五年五月間、教員生活の四分の三を過ごさせて戴きました。心から感謝申しあげて居りますが、在職中を振り返りますと恥かしくて（大いに怒られていた筈ですが）ひっそりと隠れている積りでしたが、幹事の石堂さんからの言い付けで罪滅ぼしとして心に浮ぶよしなしごとを恥をしのんで書き並べることにしました。鹿児島県人の私が見知らぬ長崎西高に長い間お世話になった



のも前世からの因縁だったのでしよう。当時の先生方は錚錚たる実力者ばかりで個性豊かな方ばかりでした。特に漢文の木下恭平（ガリバン）先生にはお世話になりました。私が漢文専攻の故に木下先生の後任として再度呼んでいただいた訳でした。然しいした実力もなく嘘ばかりしゃべっていましたが、却っ

て生徒の方が知っていましたので天下泰平でした。最近、稀にはありますが、飲屋へ入り奥の方へ行く途中、見知らぬ中年の美男子？が私の顔を見上げて「漢皇色を重んじて傾国を思ふ……」と口ずさんでくれる人がたまに居ます。私は黙って最敬礼し通り過ぎます。卒業生の頭の中では「デンスケⅡ長恨歌」と思っておられるようですが、西高での二十四年間の成果は「長恨歌」だけのようです。然しこの名作の冒頭を今もなお心に留めている方が多いことを幸せに思っています。

校舎改築——創立当時の木造

校舎はアメリカが示したモデル校舎だったそうですが、二階からは砂が降ってくるし、教室の廊下側は窓ではなく板張り、勿論電燈は無く雨の日など暗くて教科書の文字や黒板の文字も見えないのですから授業にはならず戦争の話ばかりしていました。敗れた仇討ちは必ず果さねばならぬとの期待をこめて。授業の本筋からは離れていましたが流石に西高生、結構面白い程大学に合格していました。そのうちそのモデル校舎も危険校舎に指定され、体育館横の家庭科調理室を異動させ、その跡に二教室四階の鉄筋校舎が最初に完成し、十七回生が三年生の九月

一日、小雨の中で移動しました。所が新校舎はアルミサッシの広いガラス窓でしたので田舎者達には窓が開いているのか閉まっているのかも分らず、開いているつもりで額で窓ガラスを突き破る者続出。その防止の為、目の高さの位置に赤いセロテープを貼りました。学年主任の前島先生はそのため佐々木校長からよく怒られていました。その後五・六年かかって少しずつ壊れては建築しつつ現在の校舎になりました。旧校舎で現存しているのは体育館と保健室だけ。校舎改築期間の在校生は工事の騒音に悩まされ、あちこち移動させられて落着いた勉強もできずうにもなく苦勞しましたが、逆に進学成績は上昇しました。西高生なればこそ逆境をはね返す意地が湧いてくるのでしょう。旧校舎の時代、体育館から理科校舎廊下を結ぶ通路は雨に濡れない為に瓦で葺いた屋根がありました。その屋根の名残りとして瓦一枚分の長さだけの屋根の跡を体育館入口の上に残してありますので訪れた時は見て下さい。林田光晴校長先生の卒業生に対する御配慮ですから。

一級建築士事務所

埼玉建物株式会社

代表取締役 森 永 好 輝 (19回生)

〒336 埼玉県浦和市高砂1-10-18

TEL 0488(24)3521(代)

オオキ商会

オルゴール販売

大 木 泰 斗 (13回生)

〒111 東京都台東区駒形1-10-7

TEL 03(844)4289



長崎西高を

いただきたいと思ひまして。まだ旧木造校舎のある頃、防火訓練の時は消防車が二台来てくれて校庭の地下水槽から取水し放水して訓練に花を添えてくれました。所が、昭和三十年五月頃から翌年にかけて校庭の表面を五十 cm ほど削って（削りつつある時私は西高を去りました）製鋼所の石炭ガラを敷いてその上に削った土を覆って水はけを良くする工事がなされました。三十七年四月、再び帰って来た時その地下水槽の取水口は土に埋れて分らなくなり、それを探し得ないまま、退職してしまいました。場所は校庭の北門から理科校舎までの三分の一位の距離の西側です。砂場の南側に当りましようか。その水槽は教室の半分位の広さ・深さで透き通ったきれいな水が満ちていました。私は消防車の放水操作が珍らしくていつも側で見ていましたの

で水槽の水の状況もはっきりと覚えています。然しその存在を御存知の人が少いので「幻の」と申しましたが、運動場整備工事の時その水槽を壊して埋めてないなら必ず存在していますので、いつ頃・何の目的で・誰の計画によって作られたのか。水槽の水はどこから引き入れられて貯水されているのか……等、どなたかつきとめて下されば幸いと思ひ、今もなお気にかかっているのが敢て書きました。取水口の場所探しは易しいと思います。尚、校地の東側・北側・南側の松は三十七年四月生徒の手によって苗が植えられた松です。

剣道部——敗戦後、敵国によって禁止されていた剣道を部活として放課後なら実施してもよいということ、西高でも有志の生徒十五、六名が同好会を作って私に顧問になれと言つて来てくれました。そこでとにかく防具を探し集めることが第一の仕事ということ、十着ほど探し揃えてくれました。稽古の場所もないので西門変電器の側の空地で靴をはいて稽古を始めました。その後高体連の種目にも剣道が入れられる気配があつたので二十九年二月初めの寒い日の昼休み生徒総会を開いて貰ひ、賛成応援演説の後援もあつて部に昇格しました。部員協力して基礎作りに努力している時、専門家の横尾先生が着任され本格的な活動が開始され、高体連で優勝もしました。横尾先生と入れ代りに私は鹿児島県へ転出し、三十七年西高に帰ってきた七月横尾先生は大分県に転校されたので私が引継ぎ、高体連で二年続いて二位でした。四十年四月に馬場先生、五十六年に現在の指導者片山先生を迎え黄金時代を作つて下さいました。特に私の西高勤務最後の年は新人戦、高総体と連続して男女共優勝し九州大会・全国大会に監督として出場させていただきました。今年の高総体は女子優勝・男子二位と伝統を守り続けています。

校歌——歌詞・メロディ、世界への名曲です。西高を離れて時の経過と共に懐しさが湧き出てきます。西高入学式の時新入生の保護者として出席されているお母さん達が思いきり口を開け大声をあげて歌われる光景は毎年のことながら感激の極みでした。同窓会・クラブOB・OG会・結婚式等では必ず斉唱されています。このように西高同窓会の心は校歌によって強く結ばれていると言えます。又、他校の校歌のように校名の入らぬ校歌こそ西高らしいおらかさではありませんか。世界一の名曲たる所以です。

おはりに——諸行無常のこの世の習いとしていつまでも西高に安住することも出来ず、後髪引かれる思いで二年前に去り、只今時津町の私立青雲学園に勤めています。ここは山崎浩先生が創立当初から進学指導主任として精根込めて作つて下さった学園です。漢文だけを担当しています。西高卒業生のお父さんお母さんが多く居られ楽しいことが多いです。

思い出しますまに自分のことばかり書き並べまして面白くもなかったことを申し訳なく思っています。皆様方の御多幸をお祈り申しあげます。

現住所 長崎市岩屋町三の十七
電話 〇九五八—四六—九〇〇七

あなたのカーライフに奉仕する全国1,500の信頼とサービスのネットワーク

LOTAS HARADA

車の事なら声ばかりね!!



原田自動車株式会社

社長 原田 毅

18回生、もと演劇部、もと一級建築士、もと山添 毅。

●本社／☎111 東京都台東区寿3-19-5／☎03 (843) 1021 (代) FAX 03 (843) 1026
●草加営業所／☎340 埼玉県草加市瀬崎町1779／☎0489 (22) 1241 (代) FAX 0489 (24) 4471

昔の仲間

むかしの仲間

今の仲間



出席者 井村 覚 2 回生
(経営コンサルタン
ト: 800、150
0 米)
小林 敬里 4 回生
楠成 紀器 械店 : 短
距離
田中 浩 4 回生

第 2 回陸上部
在京OB会

集まったのは代表? 4 人でした。僕以外の 3 人は高校当時の顔馴染みで当時の思い出話に花が咲きました。しかし 10 年ほど下の僕にとっても同じ陸上ということで全く同世代にグラウンドで汗を流した仲間のようでした。一方 10 年一昔の年月の差は僕にとって草創期の西高の姿を知る絶好のチャンスでもあり

ました。草創期の井村キャプテンを中心に話が進みます。県大会では 800 メートルリレー優勝、500 メートル優勝(国体出場)、駅伝競争では区間賞 2 つなど素晴らしい記録の持ち主です。いろんな話題がなんの脈絡もなしに飛び交います。東京弁と長崎弁がチャンポンになって今と昔をつないでいきます。懐かしさとアルコールのかけで全員が雄弁でした。

当時は長崎市立商業高校のグラウンドが一周 500 メートルで一番広かった。松山の市営グラウンドは昭和 28 年の夏から使えるようになった。stopwatch がなかったので練習のときは腕時計

市町村対抗「佐世保・長崎間」駅伝(昭和 24 年)ゴール寸前で長崎(井村・西高 2 年)が佐世保を抜き逆転優勝する



の小さな秒針で記録を計っていた。4 回生から東高との東西対抗が始まり年に 2 回実施。東高は一周 500 メートル、西高は一周 250 メートル。少し走るとすぐカーブなので、しよっちゅう体を斜めにして走っていた。中には腕をぐるぐる回して体のバランスをとって走る人もいた。グラウンドは波打つ海面のように凸凹で原爆によるガラス等の破片が一杯だった。夏休みは破片拾いをした。スパイクは貴重品だった。始めてのスパイクは闇市で買った。

クラブ活動それは青春。青春——西高——陸上も現在までの活力源：グラウンドで汗した青年は壮年になった今でも見事に人生のグラウンドを悠然と走り続けている。先輩の話は続く。長崎は暑かった。湿度が高く身体にジワッと追ってくる暑さ。それも一番暑い日に練習。おかげで今でも暑いのは平気。個人または仲間の練習メニューを考え、習慣は今でも日記をつけたたり、仕事の段取りを計画的にやったりすることにいかされている。

試合には当然練習を良くやって臨んだ。現在でも一つの仕事をやるときに十分準備して臨む習慣がついている。ある先輩は自分は余り速くなかったと謙遜されながら次のような思い出を語

つてくれた。他のクラブに自分より速い人がいた。陸上部員として他のクラブのメンバーには走ることでは負けたくないという努力をした。ザトベックのインターバル走法がブームの頃。かなり練習してたくたになった頃から 200 メートルを何 10 回も走った。スピードだけでなくスタミナも養った。その「競争心」、「負けじ魂」は現在でも大事にしている。受験戦争が激化している今日、英語を担当している僕としては生徒がやらなければならぬ絶対勉強時間、量の多さにびくびくしている現状です。とても運動クラブなどやる時間がない。との認識に立って、しかし、「文武両道」、「クラブだけはやったほうがいい」と生徒に言い続けています。それは先輩同様あまりにも西高時代の「陸上」の思い出が素晴らしく、大切なものだからです。

次から次へと楽しい話、懐かしい話がでてる。おいしい料理も随分残した。食べるより喋ったほうがよか! という雰囲気。僕も先輩と陸上という同じグラウンドで、同じ高校生として喋り、飲むのに忙しかつた。今回仕事と距離の関係で参加されなかった方、次はいっしょに飲みましょう! (14 回生楠本昭義)

昔の仲間

むかしの仲間

今の仲間

新聞部OB会

新聞部在京OB会
は、前回、川越市の
「いも膳」で開いて
から三、四年ぶり。
中村泰弘さん手製の
ハガキの呼びかけは、
ルーベでのぞきほどの
縮小文字で「みんな
な時間やら会場やら
ちゃんと読めたやろ
か」と不安でしたが、
なんとか無事に、高
田馬場駅前の「多古
福」に集まりました。
とは言え、折柄、忙
しい人が多かったか
十二回生四人―中村
泰弘、小林和子、橋
本光代、寺井一弘、
十三回生一人―三沢
佳子、二十一回生二
人―宮本喜代子、嶋



笑いころげた会でしたが、最後はおすまし顔で記念の一時

住貴、という小じんまりした会になりました。それでも、なつかしい話、今だから言えるという話が次々とび出して、笑ったり、驚いたり賑やかな数時間をすごしました。

たとえば、なつかしい話。長崎に珍らしい大雪が降った昭和三十四年の冬のある日。放課後、部員みんなで十字架山まで雪中行進をして、頂上で大がかりな雪合戦をやった思い出。髪に雪が凍りついて、頭を振るとザラザラ音がするのを初めて体験した。その話が出る、二十一回生の嶋住君が「あれ、そんなときは僕も十字架山に登ったんですよ。そけな光景は見たことある気のする。僕は小学生でしたよ」と、どこで、誰が見ているかわからぬものです。

今だから話せる―その一話―

かつて、新宿に、豊明荘という、一階が理髪店になっているアパートがあり、その二階の四畳半の一室に、学生時代、中村寺井、三好の三先輩が同居。当時のOBたちは、受験で上京すれば豊明荘へ、勿論、入学してからも豊明荘へ、家を出してきても、まずは豊明荘へと、年中出入りして、いわばたまり場。だから、豊明荘のことも、当時の三人の生息も全て知られているはずだった。やがて、数年が経ち、突如、「はずかしながら」という中村さんの結婚式の案内状が届き、子連れで参列して、「結婚生活ではこちらが先輩」と、ちょっとしたアドバイスの一言でも、と思っていた後輩もいたのに、驚くまいことか、すでに花嫁と花婿の間には十才にもなるお子さんがあり、夫人は豊明荘一階の理髪店で働いていた女性という。どう計算しても、あの当時の。いっちゃん知らんやっただけ!と、はじめて、「はずかしながら」の意味を了解し、「すみにおけぬ」という言葉も実感的に理解したという、当時を知る人には今やなつかしい話でもあります。

今だから話せる―第二話―
これもまた豊明荘で。何の折か集まっていた時。寺井さんが足がだるいと言いつ出し、おそ

く何の気もなく、先輩の一人(女性)がその足をもんだのです。傍で見ている、特に不健康な感じも受けず、だから、何ということもなく、その場は過ぎたのです。が、実はそこに、たまたま、寺井さんの後の夫人が同席していて、後で、寺井さんはその時はいていたズボンがぬがされ、ズタズタに切り刻まれてしまったとか。どこでぬがされたのかは、さすがに話せないというところでしたが、これこそ、はじめて聞いた話でした。考えてみれば無理もないこと。何より寺井さんの鈍感なのが罪だったという、そんな話でした。

とまあ、いろいろ出ましたが、やがて、仕事の話、政治の話、たまたま、女性の方が多かったこともあって、女性の生き方について、などに発展し、有意義でもありました。

多忙な寺井さんは、他に二つも重要な会議を控え、ここにはほんの顔見せに現われるという、触れこみであったにも拘らず、結局、最後まで居すわってしまつたという、いかばかり、楽しかったか察しがつくと思います。ところで先輩たち、あの話、公けにしてよかったのでしょうか。私に書かせた以上は覚悟の上でしょうね。ごめんなさい。

(十二回生・三沢佳子)

信州菅平高原スイス村

ペンション ラーチ

高安 啓一郎 (第9回卒)

TEL 0268 (74) 3443

冬はスキー、夏はテニス等 四季を通して楽しめます。

OBの皆様 お待ちしています



- 車では―東京(関越自動車道)―藤岡IC(R254) 富岡 安中 (R18) 東部町(菅平有料道路)―菅平高原(約3時間30分(190km)) 東京(中央自動車道)―須玉IC(R141) 小諸 (R18) (菅平有料道路)―菅平高原(約3時間50分(216km))
- 列車では―関東方面から―信越本線・上野(特急2時間30分)上田からバス 55分・タクシー40分―菅平高原

歌うひと・笑うひと・仕事するひと・さらりと登場しているひと……
西高同窓生の書評で紹介する、長崎を舞台とする作品、先輩・同輩・後輩の活躍作品群！

長崎の女（ひと）

鶴 文乃 著



1,400円

広島・長崎に投下された原爆は、軍事都市を破壊して多くの死傷者を出した。しかし、より多くの人々の心をも破壊したのである。これは「原爆」というより「戦争」というものの本質である。本書は、幼い頃に戦争と原爆によって家庭を破壊されたある女性を主人公として、彼女の人生と心の襲（ひだ）を私小説風に綴っている。

本書は、読者には決して希望を与えないまま、唐突に未来への希望を掲げて終末にいたる。救いがないかも知れないが、著者の訴える真実の一面であろう。

著者鶴文乃は長崎西高12回生荒牧フミノ氏（旧姓平田）のペンネームである。

（評／中村政治・19回生）

79市町村のプロフィール いきいき長崎

発行／長崎県市長村振興協会

長崎県をもっといろいろ知りたい人達のためにいきいき長崎（79市町村のプロフィール・県市町村振興協会発行、千円）はいかが。

県内の各市町村のまちづくりに取り組み姿が紹介されているほか、ふるさとと味覚のページには、ふるさとと会員・オーナー



制度（たとえば三和町のびわ湖の本園主制度など）が一覧でき、長崎一番ものがたりの中で、海岸線の延長日本一とか、長崎バスは日本一安いとか、面白い知恵が満載。

（評／浦田信彦・16回生）

おらんだ恋歌

神吉拓郎 著



1,240円

開国前後の国際都市・長崎を舞台に、19年間にわたって駐在した甲比丹ヘンドリック・ドウィフの恋と陰謀の渦巻く数寄な半生を描いた時代小説である。

オランダ東印度会社も解散しオランダ本国の存在も、この世から消えかけようとしている時生まれながらの強運の持主であり有能でもあったドウィフは、「オランダは、まだここにありまう。そして私たちはオランダ国民です。それに長崎の出島はジャワの付属地ではない……」と、きっぱりと言った。

幕末の長崎の諸相が西欧を通してうかがえる。長崎人の目から見ても非常に興味深く、また最後まで楽しく読める時代小説である。（評／内野生朗・26回生）

NHK『婦人百科』 ただ今一連載中 「くらしのキーワード」

永田美穂

どんなに真面目な気持と顔で取り組んでも、俳句も短歌も詩もモノにできない——なぜならそれはいつもパロディ風に横道にそれて行くから——。という悲しくもおかしいヘンな文才イスト？の同君（西高14回生）が、ただ今、月刊・NHK『婦人百科』に、カルタ取り風の文章を寄稿中。本年4月号から来月3月号まで、同誌一二六ページに掲載の「くらしのキーワード」がそれ。そこで一例——。

『（め）名月や 一か八かのプロポーズ』『（か）カラオケ歌うも 芸術の秋』『（あ）秋漂う おしゃれ心は 先駆ける』（9月号より）といったものから『（わ）若肌にお化粧は 邪魔つけ』（8月号）等の生活情報一般が毎月楽しめる。定価三九〇円（本体三七九円）でおばあちゃんから小学生まで役に立つ、同誌『婦人百科』なら男性も堂々と買えるのですぞ。『飲みすぎの夜の土産にこの一冊』（編集部）

輸入鉄鋼販売

企画 製作 卸 小売

有限会社 田中ギフト工業

代表取締役 田中 裕 康（第4回卒）

本社営業所 浦和市中島205番地
0488-52-3039
池袋出張所 豊島区東池袋3-21-18

株式会社 スターコーポレーション

代表 秦野研一（19回卒）

〒104 中央区八丁堀4-10-1 甲東ビル ☎03-553-3013

告知板

◆中国天津塘沽(タンク)便り

私は今、天津塘沽に夫と二人で住んでいる。ここは北京、天津の外港で漁港でもあり、渤海湾石油開発の基地でもある。

とにかく大地は広く歴史は永い。遙かな西の地平線に大きな真赤な太陽がゆっくり近づく、東の地平線からゆらゆらと満月が昇ってくる。菜の花や 月は東に 日は西に。の月は実は満月だったという、国文学上の大発見をした。その光景を左右の窓に見ながら一時間も車で走った。大地は広く空も広い、その大地を農民は鉄一本で耕している。悠久かわらぬ歴史を実感する。

ともあれ庶民は何の屈託もなく暮らしている。老人達は早朝から大極拳を練習し、路地の日陰で日がな一日、トランプや将棋を楽しんでいる。若い女性は精一杯着飾って自転車でご出勤だ。「一寸あなた、スカートの裾を気にしたら。」と教えてあげようかしら。

買物籠をブラ下げた、制服制帽の巡査が、下りた遮断機の下をくぐって踏切を渡っている。「そんなことしていいの?」と注意してあげようかしら。

ら。蛍光灯が悪くなったので替えてもらったら、旧いのを玄関先で叩き割って帰った。あまりのことに声も出なかった。今は水瓜のシーズン、道路わきに山積みして売っている。ナイフを水瓜に突き刺し、中心までの三角錐を切り出して、熟れ具合を確かめてくれる。だがそのナイフを拭く布巾の汚いこと。でもそんなことを気にしているのは私だけだ。

中国の野菜はおいしい。トマト、胡瓜、茄子、芋類、キャベツ、白菜……味が濃い。冬期は河が氷結する。どの家庭も十月頃から白菜、葱などを大量に備蓄する。庶民の常食は野菜炒めなのだ。大切な豚肉は配給制だが殆ど脂身ばかり、改善したら庶民は喜ぶのに。魚は川魚主体、五月十月はカニ、エビのシーズン。日本からの来客に存分にご馳走して上げられるのが嬉しい。

彼等は誇り高き民族。部屋の掃除に来る小姐(娘)が、「私は漢民族だ。」と胸を張る。

「あなたは何民族?」と聞かれて即答できなかった。そんなことと五十五才の今まで、一度も考えたことがない。

夫の知人の若い人の家庭に招待されたことがある。ダブルベッドの傍の小さな丸テーブルで、

真心をこめてもてなしてくれた。前菜八種、主菜八種というのが彼等の客料理なのだから大変だ。奥さんの友人が手伝いに来ていた。その一部屋しかない狭いアパートでの真心こめた接待は、私の一生の想い出となった。

幹部の人達と話すとき子弟をアメリカ、日本に留学させていることを、嬉しげに誇らしげにしている。ホテルのバーで大学出の若い女性がホステスで働いている。「どうして?」と聞くと、「両親が工員だからコネがなく良い就職ができぬ。」と暗い顔をした。

彼女達の上に、一日も早く明るい未来が来るよう心から祈っている。

於天津塘沽渤海賓館

(4回生 堀(角尾)愛子)

◆心友

久しぶりに長崎の伊王島に帰り島の変化におどろきました。ヨットハーバー・テニスコート・プール・ホテル等、若者の島になりつつあります。

昔友の顔も名前も思い出せず、昔話に花がさきました。

西高の同期の友もオジオバタリアンになり、新友ばかりで親友の顔もなくさびしいかぎりでしたが、だんだんと酒友・カラオケ友・囲碁友が出来ました。

昨年から幹事会に出席するようになり窓友が出来つつあります。多くの若友・老友の中から親友かつ心友が出来、老後を楽しみ過ごしたいと思いつきながら幹事をつとめさせていただいております。(6回生 志野 為人)

◆掛川会長が今期で退任されます。私もそろそろ、9回卒の幹事を退任したい。9回卒の皆さん、私の希望をかなえて下さい。(9回生 後田 春紀)

◆10回生の動靜

池端雪浦女史は、東大現役合格、現在東京外語大の教授です(言語学)。今回はじめて同窓会

に出席の予定です。中道宏君大卒のキャリア組で農林水産省の課長、非常に多忙な男です。堀場寿男君、早大卒朝日新聞社で広告を担当。入社早々上司をノックアウトして札幌で13年間過す。現在東京本社勤務。10回生も50才と云うことで先日、合同誕生会を開催致しました。(10回生 藤島満年)

◆寺井一弘君、今年度日本弁護士連合会常務理事に就任。司法問題対策委員会、法曹三者協議会、消費者問題委員会等に、更に力を発揮したいと意欲充分(12回生 中村泰弘)

後田特許事務所

弁理士 後田 春紀(第9回卒)

〒104 東京都中央区八重洲2丁目11番2号
城辺橋ビル5階
TEL 03(273)9421 FAX 03(273)9422

告知板



平成元年の第8回総会は初の試みとして日帰りバス旅行を企画しました。

7月16日(日)午前9時半、大阪梅田には家族連れも含め、合計61名の長崎弁の団が結々と集結し、10時出発。車中では会長の挨拶、定例の活動報告等がスムーズに行われました。

最初の訪問先、灘五郷の一つ『白鶴酒造』に到着。見学の後の試飲は、猪口一杯と物足りない顔?も。しかしバスの中では土産のコップ酒や、幹事気配りの酒?菓等に一年振りの総会とあって話が弾み、次の目的地『神戸市立ワイン農業公園』へ午後1時到着。

入口手前で記念撮影。昼(酒)食はバーベキュー広場。神戸ビール、魚介類にワイン・ビール・ジュース等の飲物で、乾杯と舌

長崎西高

関西同窓会の近況

つつみ。その後はワイナリー工場の見学や公園内の散策と日頃の忙しい日々を忘れ、旧交を温めたり家庭同士のふれあい等ゆつくり寛いだひとときを持つことができました。

帰りのバスは長崎の香を含む土産をもつて、カラオケや居眠りを楽しみつつ、無事総会を終りました。(15) 竹田 健一

在京東高同窓会

本年6月3日、新宿セントラルパークにて、当番幹事19回生のもとで開催。ついにライバル誌(?)が第2号とのこと。連絡先、山口光太郎⑦582-4511(株)ARC内。

在京南高同窓会

二年に一回のペースとのこと。今年はお休み。連絡先、松本浩一郎②778-4141東京海上火災、774-7810自宅

ビードロ会

例年春の恒例となったビードロ会主催の『長崎ハタ揚げ大会』4月29日に多摩川・新丸子の近くで開催。西高は毎年、会場案内係を担当。模擬店でのチャンポン、皿うどんを食べ、ビールを飲み、旧友と語りあうひととき。長崎時代の想い出の再現というところかなア。



白銀の世界ー

◆ペンション
ラーチ訪問記

信州菅平高原スイス村のペンション・ラーチ。ここのご主人は我がOB、第9回卒の高安啓一郎さんである。そしてそのスイス村といえば、知る人ぞ知る「スイスのダボス高原(スキーのできる景勝地)」さながらの名門地。標高200mの根子岳をいただくその麓の菅平高原は、春夏秋冬つきることのない自然の魅力をたっぷり持っている。——と書けるのも、先ごろ当コミュニティ編集



美しくめぐる大自然に囲まれたペンションラーチの夕暮れ時

部有志五人が、レポーターを兼ねてOBへの表慶訪問を実現できた成果だ。昨年(昭和63年)12月3日〜4日、東京立川駅に早朝八時集合して、用意のクルマで信州へ向かった。中央高速から野辺山を経て、途中まだ紅葉の残る野山の美景も満喫しながら目指す「ペンション・ラーチ」へ。(本誌11ページ参照)

高安ご夫妻にニコニコと迎えられる。さすが現地は白銀一色。一部スキー狂はそのまま夕刻までさっそくゲレンデへ。

さて、その後は夕食のときめきの団らんタイム。暖炉が燃えるダイニングルームからの景色のよさは百聞は一見にしかずそのまま。収容35名という洋室10室は、豪華ホテル級の品のよさ。名建築家の手になる木づくりで、とくに三階娛樂室は音響抜群で屋根の材質も今や貴重なものとか——。そこにピアノ、カラオケ、麻雀等々も用意されて、白銀の世界の夜は時を知らず更けていく。

おっと、何よりも素晴しかったのは、高安ご夫妻の心から暖かい我々への歓待と、その夜の夕食のフランス料理パーティ。皆さんもうぜび四季を問わず家族連れ、恋人連れでこのラーチへ、スイス村へ遊びに行かれるようお勤めする。

★吹付工事 ★塗装工事 ★防水工事
★アスベスト完全密封・完全除去工法

鳴住産業(株)

代表取締役 鳴住 貴(第21回卒)

〒280-02 千葉市鎌取町273-37
TEL0472-91-0511 FAX0472-91-8108



都市造景研究所

都市を、建築を考える仲間、求む

東京本社/〒160 新宿区西早稲田3-21-18 ☎03-208-4216
●名古屋・松山・仙台・札幌 ●第16回卒 浦田 信彦

□□□-□□



同窓会 便り

昭和六十三年 在京西高同窓会

一九八八年度(昭63)在京同窓会総会は十月一日(土)午後四時より虎ノ門全社共ホールで開催。出席者は男性二百二名女性百二十六名、来賓十九名で、なごやかに行われた。

当番幹事として、出席の皆様に改めてお礼申し上げます。今回も多数の恩師先生方のご出席をいただきました。

岡田泰敏先生(長与市)
神田弘慶先生(福岡市)
桜井定夫先生(藤沢市)
塚原末子先生(長崎市)
永野文雄先生(北本市)
深堀義文先生(長崎市)
福田雅太郎先生(長崎市)
町井彦四郎先生(東京都)
山崎浩先生(横浜市)

また、現校長田中重正先生にもご出席いただき、ありがとうございました。

レーザービーム・ディスプレイで郷愁を、バンドの大音響にビックリ、記念撮影で絆を固める、という趣向にした。先輩から、「ずいぶん感じを変えたね。」その他、「すばらしかった。バンドはいくら出せば呼べるの?」「音が大きすぎて隣の人と話するのに苦労した。」と、賛否両方の言葉をいただいた。

当番幹事の活動は一九八七年十一月十一日をもって始動。信濃町吉宗にて15回橋本氏からノウハウを伝授していただいた。すべてのポイントが尽されており、有難かった。

世話人会九名と実行委員会三十四名の組織とし、卒業時のクラスに基づいた連絡網をつくった。世話人会は約十回、実行委員会の会合は九回であった。

牽引役の代表幹事浦田君を始め、皆さんご苦労様でした。

二次会。ホッとした顔が恩師を囲んで集まる。四十五名。遠路よりなつかしい顔もあって、嬉しかった。名残り惜しく、三次会、四次会まで。

余談だが、前述の橋本氏と、一九八四年春、業界の視察ツアーを一緒にした。ところが、三週間寝食を共にしながら、先輩



後輩の間柄であることに気付かなかった。その年の同窓会総会で顔を合わせてアツと驚いた。

余談その二。昨年七月十五日、幹事会で案内状を配り、同期の萬谷君と有楽町駅から山手線に乗った。すぐそばのサラリーマン二人連れの会話が耳に入る。故郷の話だと思いうち、「長崎」「西高」が飛び出した。捨てておけない。声をかけた。26回の山口正久氏であった。車内で名刺交換、総会に誘った。

その三。十一月のある日、客先での会議を終えての帰途、新宿西口の喫茶店に、同僚と立寄った。そこへ同期の林盛昭君が入って来た。一瞬目を疑ったが、声をかけた。呼ばれた方でも耳を疑っている。彼は埼玉県立ガンセンターに勤務しており、東京には減多に出来ない。こんな風

編集長 16浦田 信彦

編集顧問 12森崎 充介

特別顧問 12寺井 一弘

12中村 泰弘

10藤島 満年

13吉雄 敬正

スタッフ

13吉川 康子

14永田 美穂

17黒沢 雅浩

19中村 政治

21水城 裕三

21宮本喜代子

26内野 生朗

30伊藤 利和

「コミュニティ」第七号

平成元年十月七日発行

長崎西高在京同窓会

発行責任者 掛川博行

〒一〇五 東京都港区芝大門

一四一四一八〇五

☎〇三三四三一五三四七

に出会う筈はないのだがと言いつつしばし話をして別れた。

世間は広いようで狭い、と言う。こんな出会いを、不思議な偶然として楽しみたくなるのは、大都會の中に散らばっているという意識が強いためであろうか。

当番幹事をするのは年中同期会を開くことであり、その意味では楽しかった。

関係者に再度お礼を申し上げて筆をおく。

当番幹事 事務担当
16回生 山崎賢一郎

空気調和設備の設計並施工

京橋空調株式会社

代表取締役 赤堀 薫 雄

〒101 東京都千代田区神田淡路町2-10 電話 (03) 253-4064~5番



Dinner

長ネギのキッシュ ￥8,000
 オードヴル盛り合わせ
 冷製コンソメ
 コチのマルセイユ風
 シャーベット
 牛ヒレ肉の網焼ステーキ
 デザート・コーヒー

フル・コース ￥5,000より
 メーベル・キューイシメと焼石料理
 のハーモニー、テイクスタシヨコ
 ース ￥10,000～￥12,000
 焼石膳 ￥5,000
 お昼は日替りて￥2,000～￥3,000

Romantic Table

Hortencia

PHONE 0425-74-9070

Cuisine Français-Japonais
Hortencia
 おるたんしあ

Peach bldg. 1-16-20 Naka Kunitachi-city Tokyo

Phone 0425-74-9070



夢・旅立ち・初めての街...

そこでみつけたリンガーハット
 小さな長崎があります。



正社員及び主婦のパートさん、学生アルバイトさんを募集しています。どんどん紹介して下さい。

東京本社 〒160 東京都新宿区新宿2-19-1 ビックス新宿ビル3F TEL.03-341-5681

専務取締役 田栗静行 (11回・野球部)

自律



1

眸をあげよ 涯遠く
風かがやかし 丘の上
こころは清く 凜として
眉秀でたる 若人よ
自律の園を まもらずや

ああ新世の歌声に
わが山々よ こだませよ

2

明るき学園の 窓ひろく
白亜に映る 空青し
眼はひろく 陰翳なく
自由にたてる 創造の
叡智は薫る かんばしく

ああ若々し 学舎に
行く白雲よ ほほ笑めよ

3

入江は深き 新潮に
世界の船の 集いきて
文化の黎明 あらしめし
歴史は旧りず 永遠に
平和の鐘は 鳴りつづく

ああ美しき 長崎の
夢あたらしく 花咲けよ